

2 業務概要

2・1 微生物科

2・1・1 調査研究

昭和51年度から行っている「ウイルス感染症の疫学調査」を本年度も実施した。検体採取定点としての県下6小児医療機関(鳥取市、倉吉市、米子市各2機関)から採取される検体数は、年毎に増加の傾向にあり、本年度は約1,600検体を調査して23種の病原ウイルスが分離された。また、任意抽出した約2,400の血清について、風疹を主としてインフルエンザ、麻疹などの抗体調査を行った。さらに県健康対策協議会の要請で県下8施設の看護学院生850名(18才~21才女子)の風疹抗体保有状況を調査した。

「伝染病流行予測調査」は、厚生省委託の日本脳炎及びインフルエンザの感染源調査と、単県事業である風疹、インフルエンザ、麻疹の抗体調査を例年どおりに行った。

2・1・2 試験検査

行政委託検査では食中毒検査、湖沼・海水の環境基準にもとづく大腸菌群検査、畜水産物中の残留抗生物質検査、収去食品の細菌検査などが約1,500件あり、窓口受託検査では風疹抗体検査は約4,000件、梅毒血清検査が約2,300件をはじめ、病原細菌の分離同定、水の細菌検査、その他血清抗体検査などが計約6,700件あった。

2・2 食品化学科

2・2・1 調査研究

「魚介類の有機塩素系農薬残留量実態調査」を昭和53年度から継続し、昭和56年度に引き続き実施したが、昭和57年度をもって終了年度となった。その他として、地方衛生研究所全国協議会の「日本国民の栄養摂取量の地域差に関する研究」に協力機関として参加した。

2・2・2 試験検査

行政委託試験として、昭和57年度は食品等の残留農薬試験、PCB及び水銀に関する試験、畜水産食品中の合成抗菌剤試験及び家庭用品試験を、又、本年度から初めて化学物質環境汚染実態調査の生物指標環境汚染測定調査(環境庁委託)についての業務を行った。そのほか、保健所からの行政委託及び一般からの窓口受託試験として、食品衛生理化学試験、残留農薬試験及び薬事試験を行った。

昭和57年度は、いずれにおいても試験結果からは、基準値あるいは規則値を超過したものはなかった。

2・3 水質調査科

2・3・1 調査研究

「湖沼の汚濁機構の調査」を中海で実施し、調査研究報文「中海の水質構造と富栄養化現象について」（36頁）としてとりまとめた。中海の湖水は低塩分層、中間層、高塩分層の3層に区分され、それぞれ塩分の挙動が異なることなどの水質構造の解明、リンは低塩分層では富栄養化現象に関与しているが、高塩分層では関与していないことなどが分かった。

2・3・2 試験検査

水質汚濁防止法第16条に基づき、公共用水域（湖山池、東郷池、多鯨ヶ池、中海及び美保湾）の水質常時監視を実施するとともに、千代川ほか13河川のPCB分析、日本海沿岸海域の健康項目、油分の分析を行った。このほか行政委託調査として中海水質監視強化調査、境港市竹内地区埋立事業に伴う美保湾の水質調査、佐治川ダムと百谷ダムの水質調査、鳥取港、網代港などの浚渫に伴う土砂の検査、また、環境庁の委託事業として中海について湖沼水質総量規制検討調査を実施した。

窓口受託検査は企業局の佐治川、八東川、茗荷谷ダム、中津ダムの水質検査、運輸省境工事事務所、一般企業などからの浚渫に伴う土砂の検査、湖沼水などの水質検査を実施した。

2・4 水質環境科

2・4・1 調査研究

昨年と同じく「鳥取砂丘観光地排水処理施設の排水調査」及び県下温泉地の全源泉について「温泉の実態調査」を実施した。

2・4・2 試験検査

排水、産業廃棄物、湖山池浚渫に伴う沈殿汚過水、飲用水、雑用水及び温泉について、行政委託検査と企業等一般依頼による受託検査を行った。

2・4・3 廃水処理

県東・中部地区の試験研究機関等の有害物質含有の試験室廃水11,249ℓを処理した。

2・5 大気騒音科

2・5・1 調査研究

降下ばいじん調査を継続実施していたが、その測定結果の一部について、「降下ばいじん中のCl⁻量について」として鳥取県公衆衛生学会で発表した。

低周波空気振動調査として、種々の事象について調査しているが、「橋梁周辺の低周波空気振動」について調査結果の一部をまとめた（56頁）。

放射能測定調査のうち、過去11年間の空間線量の測定結果を「空間線量の経年変化」としてまと

めた(52頁)。また本年度の調査結果は、「陸水、各種食品及び土壌の放射能測定調査報告書(29)」に収録刊行した。

大気汚染の進んでいない本県においても、春季に高濃度のOxが観測されることが多いので、これについての原因を究明中である。また、種々の煙道排ガスについて、その成分を引続き調査している。

その他、環境庁の計画による「環境測定分析統一精度管理調査」(フライアッシュ)、「有害物質全国総点検調査」(Hg、B(a)P、HCHO)に参加した。

2・5・2 試験検査

大気汚染防止関連業務として、大気汚染監視局(衛研局)の運用、煙道排ガス測定及び事業場の燃料重油中の硫黄分を分析した。

自動車公害調査は、鳥取市の街頭における一酸化炭素濃度の測定と、鳥取市、倉吉市、米子市及び境港市における実態調査を実施した。

悪臭調査は、県の計画にもとづき、悪臭発生事業場の調査及び地域指定にかかわる調査と市町村の委託による検査を実施した。

2・6 研修指導

期 日	名 称 ・ 課 題	担 当 者	場 所
57. 4. 28	食中毒実務研修会(保健所担当職員) ・新しい食中毒菌について ・ロタウイルスについて	寺谷 巖科長 石田 茂研究員	鳥 取 市
57. 6. 4	有機溶剤作業主任者技能講習会	宮田年彦科長	倉 吉 市
57. 8. 10	市町村、保健所予防接種担当職員研修会 ・輸入伝染病と日本脳炎 ・感染症-最近の話題-	寺谷 巖科長 石田 茂研究員	鳥 取 市
57. 11. 12	保健所、衛生研究所試験検査技術研修会 ・水質分析精度管理 ・新しい食中毒菌の話題から ・食品添加物分析法について	安田満夫科長 寺谷 巖科長 林田博通研究員	倉 吉 市
58. 3. 11	特定化学物質取扱主任者技能講習会	宮田年彦科長	倉 吉 市

2・7 会議・研修会・学会参加

期 日	名 称 ・ 課 題	参 加 者	場 所
毎 月 1 回	感染症サーベイランス解析委員会	瀧田親友朗所長 (4・5月) 深澤義明所長 (6月以降) 寺谷 巖科長 石田 茂研究員	鳥取市と米 子市(隔月)
57. 4. 25~27	血清検査技術研修会	井上睦子研究員	東 京 都
57. 5. 7	第36回地方衛生研究所全国協議会中国四国ブロック 会議	瀧田親友朗所長 小林高明課長 寺谷 巖科長 浅井 篤科長 平野温馬科長	松 山 市
57. 5. 12~13	昭和57年度全国公害研協議会中国・四国支部会議	瀧田親友朗所長 宮田年彦科長	岡 山 市
57. 5. 30	第7回山陰地区感染症懇話会	寺谷 巖科長 石田 茂研究員 井上睦子研究員	米 子 市
57. 6. 2	昭和57年度化学物質環境汚染実態調査打合会	林田博通研究員	東 京 都
57. 6. 4	日本感染症学会西日本地方総会 ・ 1981年~1982年鳥取県で流行したインフルエン ザについて	石田 茂研究員	佐 賀 市
57. 6. 4	第11回全国公害研協議会総会	深澤義明所長	東 京 都
57. 6. 18	昭和57年度放射能測定調査打合会	宮田年彦科長 浜田昭夫課長補佐	東 京 都
57. 6. 22~23	昭和57年度地方衛生研究所所長会議及び地方衛生研 究所全国協議会臨時総会	深澤義明所長 小林高明課長	東 京 都
57. 6. 25	地方衛生研究所試験担当者講習会(薬事)	浅井 篤科長	東 京 都
57. 6. 28	第3回衛生微生物技術協議会研究会	寺谷 巖科長	仙 台 市
57. 7. 15	第25回鳥取県公衆衛生学会 ・ 湖山池底質の栄養塩類とその溶出について ・ 湖山池の水質汚濁機構と湖沼の内部生産につい て ・ 湖山池の植物プランクトンの優占種と富栄養化 について ・ 県下温泉の重金属等実態調査について ・ 降下ばいじん中のCl ⁻ 量について	笥 一郎研究員 三田正之研究員 山内佳見研究員 平野温馬科長 宮田年彦科長	鳥 取 市

期 日	名 称 ・ 課 題	参 加 者	場 所
	<ul style="list-style-type: none"> ・風疹流行の成人女子におよぼす影響について ・牛乳の有機塩素系農薬及びPCBについて ・鳥取県の嘔吐下痢症-集団発生した事例の検討- 	井上睦子研究員 田中長義研究員 石田 茂研究員	
57. 8. 12	全国公害研協議会中国四国支部第9回水質部会	安田満夫科長	徳 島 市
57. 9. 10	化学物質環境調査打合せ会議(西日本ブロック)	林田博通研究員	広 島 市
57. 9. 17	第28回中国地区公衆衛生学会		鳥 取 市
	<ul style="list-style-type: none"> ・湖山池底質の栄養塩類とその溶出について ・湖山池の水質汚濁機構と湖沼の内部生産について 	寛 一郎研究員 三田正之研究員	
57.9.20~10.1	第5回環境放射線モニタリング技術課程研修会	山根一祐衛生技師	千 葉 市
57. 9. 21~22	第19回全国衛生化学技術協議会年会	浅井 篤科長	京 都 市
57. 10. 20~21	全国公害研協議会中国四国支部第9回大気部会	深澤義明所長 小林高明課長 宮田年彦科長 稲村正博研究員 畦崎俊敬研究員 山根一祐衛生技師	鳥 取 市
57. 10. 26~27	第33回地研全国協議会総会及び次長庶務課長会議	深澤義明所長 小林高明課長	福 岡 市
57. 11. 4~5	食品衛生微生物協議会学術研究会	寺谷 巖科長	大 阪 市
57. 11. 8	全国公害研協議会秋期総会	深澤義明所長	宮 崎 市
57. 11. 9~13	日本ウイルス学会単純性ヘルペスの分子疫学研究 -単純ヘルペス1型について-	石田 茂研究員	京 都 市
57. 11. 14	第9回山陰地区感染症懇話会		松 江 市
	・定点観測で分離したアデノウイルスについて	石田 茂研究員	
57. 12. 1~4	昭和57年度食品化学講習会	田中長義研究員	東 京 都
57. 12. 1	第9回環境保全公害防止研究発表会		東 京 都
	・湖山池の植物プランクトンの優占種と富栄養化について	山内佳見研究員	
57. 12. 8	第24回環境放射能調査研究成果発表会	宮田年彦科長	千 葉 市
58. 2. 16	環境測定分析統一精度管理調査結果検討ブロック会議	稲村正博研究員	松 江 市
58. 3. 2~4	第6回環境における化学物質分析法研究発表会	林田博通研究員	所 沢 市
58. 3. 13	第10回山陰地区感染症懇話会		米 子 市
	・小児のエコーウイルス30型感染症の3例	佐々木陽子衛生技師	
	・R・PHA法によるロタウイルスの検出	石田 茂研究員	
58. 3. 15	昭和58年度食品関係事業計画説明会及び食品衛生講習会	田中球英研究員	米 子 市
58. 3. 22~24	水質汚濁学会	山内佳見研究員	東 京 都
58. 3. 24~25	家庭用品安全対策行政担当係長会議	浅井 篤科長	東 京 都

鳥取県衛生研究所

2・8 依頼先別検査数調査(57年度)

検査別 依頼先等区分	細菌検査		ウイルス・リクettチア等検査		原虫・寄生虫等		結核	性病	食中毒	食品検査	水質検査	廃棄物関係検査	公害関係検査	一般環境	放射能	温泉(鉱泉)泉質検査	家庭用品検査	薬品	栄養	その他	計	
	件数	項目	件数	項目	件数	項目	件数	項目	件数	項目	件数	項目	件数	項目	件数	項目	件数	項目	件数	項目	件数	
保健所	8	1,714					3	36	80	332	52		52				32				2,309	
	22	1,714					3	39	388	1,723	52		52				56				3,999	
保健所以外の行政機関								76			231	5	201									513
								76			1,149	32	724									1,981
医療施設	4	2,348					28	2,203			1											4,597
	4	2,498					28	5,515			5											8,063
学校及び事業所										3	316	17	38	4		2		22		24	426	
										29	1,323	142	138	4		45		34		49	1,764	
その他											3	1							4		13	
											37	6							27		85	
自ら行うもの	51	4,743					1	194		61	292		8,289		614	242	4	10	70	14,571		
	233	7,042					11	194		523	679		120,290		9,735	1,256		16	66	70	140,115	
計	63	8,805					32	2,514	80	396	895	23	8,580	4	614	244	32	30	10	94	22,429	
	259	11,254					42	5,839	338	2,275	3,245	180	121,204	4	9,735	1,301	56	77	66	119	156,007	